



幼稚園だより

令和3年2月発行
南丹市立園部幼稚園

「わかる！その気持ち！」

この冬は寒波が厳しく、園庭にできる氷の分厚さに子どもたちは毎日大喜びでした。登園するとすぐに園庭の氷探し大作戦！が始まり、日を重ねるにつれて探しに行く場所が決まってきました。出来る場所、出来にくい場所が分かってきたようです。「今日は薄い！」「すぐに割れる」…何が違うのかな？今は頭で理解できていなくても、どうして？不思議だな？と感じる気持ちを心と体にいっぱい貯め込んでおいて欲しいと思います。

さて、1年間の成長が表れる3学期。ジャンパーのチャックを丁寧に自分で閉めてハンガーにかけている3歳児の姿を見ると、心が安定し、落ち着いて生活していることが伝わります。気の合う友達との遊びの中で自分の思いが出せるようになってきました。4歳児は今凍り鬼ごっこに夢中です。鬼にタッチされて凍ってしまった子どもがなぜか嬉しそうなのですが…そこにはこんな理由があるように感じます。「助けて！」と叫べば助けに来てくれる友達がいる。「ありがとう」「こんどは助けるね」頼り、頼られるこの信頼関係が心を満たしてくれているのだと思います。そんな友達関係が出来ています。

5歳児は1月から『コマ検定』が始まりました。子どもたちはちょっと難しいことに挑戦する時、夢中になります。コマに挑戦したいと決めた子どもはチャレンジ意志を伝えに来て私の前でコマを回します。まずは15秒を2回連続で回せたら合格！自分のコマを手に入れ、そこから更なるチャレンジが始まります。でも検定を受けられるのは1日2回まで。いくら教室で回せていても検定の場で回せなければ合格できません。この条件が子どもたちの緊張感を高めるようで…そわそわ落ち着かなくなります。

「おちつこう…」と自分に言い聞かせるようにつぶやく姿に、このチャレンジで子どもたちが経験する様々な感情が達成できた時の喜びにつながることを実感しています。先日、A君が私の所に来て「けん玉検定にきました」と言いました。けん玉？と思いましたが、「どうぞ」と迎え、技を見せてもらいました。1回目…失敗。2回目…成功！。次も成功したら合格です。…成功!!合格した子どもは職員室にいる先生たちから祝福を受けるのが恒例です。「おめでとう!!」賞賛の声にA君の表情が一気に緩み、何とも言えない誇らしい表情に変わりました。その日教室に戻ったA君は友達からも祝福され、「次はコマ検定にするわ」と言ったようです。コマ検定はコマをもらうためにするものでも、コマを回す技術を獲得するためでもありません。出来なかったことが頑張ってきた出来、そのことを認めてもらった満足感が次への意欲やあきらめない気持ちにつながることを願って取り組んでいます。「〇〇君できるようにならなっで」「落ち着いてな」「次は絶対出来るって！頑張ろうな！」子ども同士で交わされているこんな会話に感動の毎日です。

園長 久保 佳苗



● 2月行事予定 ●

- 2日(火) 節分あそび
4日(木) 卒園記念写真・個人写真撮影(5歳児)
8日(月) 個人写真撮影(3歳児)・PTA本部役員選挙投票用紙配布(4歳児保護者)
教育実習始まり
9日(火) PTA本部役員選挙投票用紙提出日
12日(金) PTA選挙開票日・PTA会計監査・編集・研修部会
(本部役員・選挙管理委員長)
15日(月) 生活発表会(3歳児)・交通教室(5歳児)・集金日
16日(火) 交通教室(3・4歳児)
PTA本部役員会・編集・研修部会(本部役員)
17日(水) 令和3年度すこやか学園入園説明会
18日(木) 人形劇鑑賞会(3歳児)・もうすぐ1年生活動(5歳児)
19日(金) PTA運営委員会(書面審議)・避難訓練
22日(月) 編集・研修部会(本部役員)・PTA本部役員会反省会



● 3月行事予定 ●

- 1日(月) 人形劇鑑賞会(4・5歳児)・PTA総会(書面審議)
4日(木) PTA本部役員引継ぎ会
8日(月) 誕生会
9日(火) 預かり保育終了
11日(木) 平常保育終了・すこやか学園卒園式
12日(金) 午前中保育始まり
17日(水) 卒園式
22日(月) 第3学期終業式



～お知らせ～



●3歳児の生活発表会の様子を下記の日程でCATVにて放映されます。ぜひ、ご覧ください。(当初、予定されていた生活発表会が延期したため事前に案内されていた放送日が変更されています。)

★2月26日(金)～2月28日(日)★

●消費者庁から別紙の通り、硬い豆やナッツ類等は、気管支炎や肺炎を起こすおそれがあることや窒息や誤嚥事故に注意が必要であるため、5歳以下の子どもには食べさせないでという注意喚起があったので、年豆を園では食しません。

節分用の年豆をPTA会費から購入させていただいていましたが、本日、持ち帰りますので、子どもではなく、保護者様に食べていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



こままわし♡

物が豊かになっている今、日本古来からの遊びの良さが感じられるこま遊びを楽しんで欲しいと思い、取り入れています。また、回し方や回す場所を考えたり、どちらが長く回るか友達と競争をしたりするなど、自分の興味に応じて取組んだり、遊び方を工夫したりしながら、じっくりと取り組めるよさもあります。その中で、自然と手や指先を使うこともできますね。

簡単に回せるこまもあるけれど、難しいことに根気よく取り組み、挑戦しようとする意欲や達成感が感じられる遊びとして、各年齢に応じたこまで遊んでいます。

自分のこまがうれしくて興味をもち遊んでいます。「これ回せるで！見ててね。」と先生に認めてもらい、さらに意欲的な3歳児の子どもたちです。



先生がこままわしのきっかけをつくりをすると…意欲満々で遊びだす4歳児。最初は床の上で回していましたが、回せるようになると次の段階へとステップアップ。カラー積み木の上や空き箱の蓋の上でジャンプさせたり、粘土板の上など、いろいろな場所でも挑戦!!落ちないように、どれだけ長く回せるかと目標をもち、まわせる喜びを感じています。また、こままわし表(ふつうまわし・きのこまわし・ジャンプなどの項目を作り)を作成し、目標をもって取り組んでいます。



興味をもち5歳児もこま回しを楽しんでいます。

こまに紐を巻くのが難しいAちゃんは周りにいる友達や先生に巻き方を教えてもらったり、手伝ってもらったりすることから始まり、こまを投げてみると、回ったり、回らなかつたり…でも、何回に1回、回ることがうれしくて、何度も繰り返す姿がありました。

何回も何回もやってみるけれど、なかなか回せないBちゃんが少し悲しそうな表情が見られたので、「なかなか回らないね。どうやったら回せるのかな?」とつぶやくと、その言葉を聞いていた近くにいた友達が、「こうやってやったらいいよ」と投げ方や持ち方を身振りや言葉を添えてアドバイスしてくれました。友達のやさしさに触れると、気持ちを取り戻し、再度挑戦する姿になりました。

興味をもち、繰り返し遊ぶ中で、できた喜びを感じ、楽しんでいけるように、認めたり、励ましたりしながら、難しいことにも諦めないで挑戦できるようになってほしいと思います。



★カルタ・カードゲーム・すごろく★

絵合わせカードゲームでは、「次は〇〇ちゃんだよ」「今度は私?」など、言葉を交わしたり、順番を抜かして「違うで」と言われ、落ち込んだり、めくったカードが合致した時には喜んだり…

カルタでは、読み手と取り手にわかれて遊び、言葉の面白さや友達とふれあい遊ぶ楽しさを感じています。こうした遊びを通して、友達とコミュニケーションをはかる心地よさや勝ったり負けたりすることで、葛藤したり、気持ちに折り合いをつけたりしながら遊ぶ楽しさを感じています。

また、遊びの中で、楽しみながら文字や数字にも触れることもできますね。

3歳児 絵合わせゲーム



4歳児 すごろく



5歳児 カルタ



★生き物とのふれあいを通して…★

餌をあげたり、飼育ケースを掃除したり、触れ合って遊んだりしながら、かわいがっていたハムスターのさくちゃんが先日、亡くなりました。

玄関に花を添えて寝かせておくと、登園してきた子どもたちは、「どうしたん?」「寝てるの?」「動かなくなったん?」と見たこと、不思議に思ったことや感じたことを伝えてきました。「天国で友達できてるかな?」「元気になって(遊んで)るかな?」と気遣う姿に、「バイバイやから、さみしいね。今までありがとうって伝えとこか。」と話す「そりゃな。」「元気でね。」「お空で遊んでね。」などとやさしい声をかけていました。生き物の死を身近に感じ、お別れの意味を知る機会となりました。



★節分あそび★

節分は季節の分かれ目。うるう年と同じ感覚で1年に少しずつ誤差がでるので、調整の意味もあり、2月3日が立春となり、今年の節分は2月2日となります。124年ぶりとのこととか…

5歳児は、節分の行事について話し合いました。子どもたちは、「鬼はこわい」「鬼は豆が苦手」「やさしい鬼もいるけど、おなかの中に泣き虫鬼とかいる」と言ったり、自分たちの経験から、「小さい組が鬼をこわがるかもしれない。」「悪い鬼は豆でやっつけたらいい。」などと話がでてきました。さらに、どんな豆まきにしたいかと話し合った時、「小さい組の鬼になってあげたらいいかも。」「こわかったから守ってあげる」など、小さい組のことを気にかける様子があり、自分のことだけでなく、小さい組の友達のことを思いやる気持ちが育っていることに成長を感じました。

4歳児のクラスでは、絵本を読んだ後に、先生が「おなかの中にある鬼ってどんな鬼かな?」と聞くと、Aちゃん「泣き虫鬼」Bちゃん「おこりんぼ鬼」などなど。先生とのやりとりの中で、自分を冷静に見つめ直す機会となっているんだなと思いました。

3歳児のクラスでは、「鬼は強いから負けないように強くなる!」とフープやバランス棒を跳んで修行をしたり、「鬼はどこにいるの?」と鬼探しをしたり、ごっこ遊びを楽しんでいます。「鬼が嫌いなもの知ってる?」「豆や!」と言うことから、「豆もいるね。」と新聞紙を丸めて豆づくりが始まりました。その豆を空想の鬼に向かって豆まき遊びも楽しんでいます。鬼は強くてこわいイメージのようですが、遊びを通して楽しみながら行事に触れて欲しいと思います。

節分遊びを通して子どもたちの心の中にある様々な鬼をやっつけて、心たくましいみんなになれるといいですね。最近では教室から、♪おにはそと〜ふくはうち〜と、まめまきの歌声が聞こえてきたり、節分にちなんだ絵本を読んでもらったりもしています。さまざまな経験をする中で、伝統行事の意味を知り、行事も楽しみたいですね。



★5歳児の気持ちがうれしい!!★

先日、令和3年度新入児説明会及び健康診断がありました。例年は新入児を迎える時に、色紙で心を込めて折ったものをプレゼントしていたのですが、今年度は感染症拡大予防のために、個別にプレゼントを渡すことをやめました。でも…5歳児は来年少園してくる友達のことを思って歓迎の準備をしてくれました。「4月になったら私はいない(小学校に行く)けど、でも新しい友達がかかるからね」と話しながら作成してくれました。

飾った紙のメッセージを読むと…

「おうちものいいけど、ようちえんものいいよ。ブランコものいい。おにごっこものいい。」などと自分たちの思いを精一杯の形で伝えようとする姿に年長児のやさしさを感じました。

